

## 地元産の鮭を みんなで食べましょう

1月13日(水)、志津川公民館の調理室を会場に、「第1回女性リーダーの勉強会」と題した鮭料理の勉強会が行われ、町内の婦人会を中心とした37人の女性が参加しました。

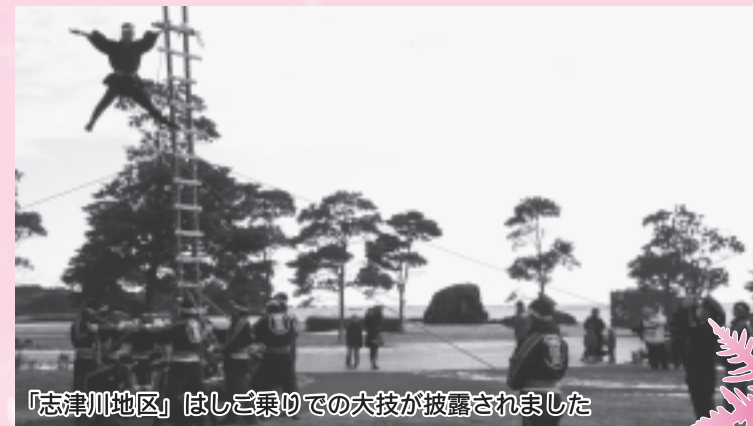
今回は、「地元の鮭で料理を作ってみよう！」をテーマに行われ、「はらこ飯」「鮭フライ」「鮭のあら汁」の3品に挑戦！参加した皆さんはベテランの主婦ですが、家庭での作り方とは違うアレンジされた料理のため、事前に手渡されたレシピを片手に悪戦苦闘している様子でした。料理が出来上がると、会場を日本間に移して試食会。苦勞して作った鮭料理の味は絶品のように、家庭の食卓においしい鮭料理が出てくる日も近いかもしれません。



この日作られた料理



鮭フライを揚げるおいしいにおいが印象的でした



「志津川地区」はしご乗りでの大技が披露されました



「歌津地区」伊里前川への一斉放水では、きれいなアーチに虹の橋がかかりました

## 安心して安全な年になりますように！

1月4日(月)、平成22年消防団・交通指導隊出初式が志津川地区と歌津地区で行われ、今年1年の無火災・無災害・無事故などを祈願しました。

身も凍るような寒い日となりましたが、志津川の荒島パークでは、消防署員による見事な「はしご乗り」の披露や「記念の餅まき」などが行われ、集まった参観客を楽しませてくれました。また、歌津の伊里前地区では、消防団員や消防車両による街区行進や伊里前川への一斉放水などが行われました。



携帯電話を使い、北京語で110番通報を体験しました

## 事件や事故を目撃したら すぐに110番

1月8日(金)、中国人研修生を対象とした「110番教室」がホテル観洋で行われ、日本での110番の仕組みや正しい利用方法などを学びました。

110番教室は、1月10日の「110番の日」にちなんで行われたもので、今年で3年目になります。宮城県では、年間約11万6千件(平成20年集計)の110番通報が受理されており、その必要性は年々増していますが、最近ではメールで110番ができるなど利便性が向上しています。

研修生を代表して、実際に県警本部への110番通報訓練をした季園嬌さんは、「中国にも110番はありますが、実際にかけたことはなかったので緊張しました。実際に事件や事故を見たときは、落ち着いて話したいと思います」と話してくれました。

## ライフジャケットの着用を呼びかけ

12月21日(月)、気仙沼海上保安署の職員と宮城県漁協歌津支所のライフガードレディースの4人が歌津地区の漁港を回り、ライフジャケット着用の推進活動を行いました。

ライフガードレディースは、海上作業でのライフジャケットの着用推進のために気仙沼海上保安署から漁協女性部の役員を中心に委嘱されており、町内では志津川地区で12名、戸倉地区で9名、歌津地区では12名の方が委嘱されています。

当日は小雪が舞う寒さの厳しい日でしたが、漁港で作業している皆さんにチラシなどを配りながらライフジャケットの着用を呼びかけました。

海上での作業は常に危険と隣り合わせです。海中に転落したときなどの緊急時に備え、ライフジャケットは必ず着用しましょう。



作業中の皆さんも笑顔で応じてくれました

## 1年の無病息災と家内安全を祈願 ～歌津地区どんと祭～

1月14日(木)、伊里前川の水門付近の海岸を会場に、「どんと祭」が行われました。

どんと祭は、例年1月14日に、神社の境内などで正月飾りを焼き、御神火にあたることで1年の無病息災・家内安全を祈願するものです。

歌津地区では、火事の心配がない海岸に、船の形につくられた「お焚き上げの台」を設置し、正月飾りなどが大量に積み上げられました。その後、神事で清められた火が入られると、御神火が火の粉と炎を勢よく立ち上げて燃え上がりました。岸壁に集まった皆さんは、赤々と燃え盛る火の影を静かに見守っていました。



正月飾りの上にはダルマが置かれています



体育館の床は相当な冷たさでしたが、気合で吹き飛ばしていました

## 剣道初稽古に 100人の剣士が集う

1月11日(月)、歌津中学校体育館を会場に「平成22年本吉郡剣道新春初稽古会」が行われ、南三陸町と気仙沼市本吉地区の小学生から大人までの約100人が参加しました。

この初稽古は本吉郡剣道連盟が主催するもので、極寒を克服して稽古に励み、逞しい体力と気力を養うための稽古として毎年行われているものです。

準備運動をした後に「切り返し」や「打ち込み」など全員で初稽古を開始し、会場には気合のこもった掛け声と竹刀を交える音が響き渡っていました。